

協働パイロット事業 (H22) 企画提案書

1. 事業の名称

団体名：しずおか子育てフェスタ

生まれる前からの子育て

2. 事業方針 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください)

核家族・少子化が進む一方で児童虐待の件数は 08 年度過去最低を更新した。根本的な解決「子育てしやすい社会作り」という視点で見えた場合これから第1子目を出産する妊婦の不安は大きく、地域でのサポート・情報交換・人と人との繋がりが充分にできていない現状である。産後6ヶ月～1歳までの母親(30人)対象アンケート(5月19日での当会サロン内で実施)では、産後育児の悩みなどがあつた。もしくは今現在ある。と答えた人が58%、その悩みについて「なかなか離乳食がすすまない。」「こどもの成長について。」などの回答があつた。その中で問題の解決方法について「傷つくことを言われた。」「自分自身の育児を否定されるような内容を言われた。」と答えた方が48%いた。そして、どのような解決方法が有効か?という点については、同じ月例同士の仲間での相談会、先輩母親からの意見、地域助産師を交えてのグループでのピアセリング。という声があがった。これまで行政が行ってきた子育て支援を我々と協働で取り組むことで市民ニーズ、現場の声を取り入れることができる。

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと

現在静岡市内の産後の母親へ保健師が家庭訪問しエディンバラ質問表(産後うつ病質問表)を配布しているが、継続的にこの質問表と家庭訪問を行っていないため産後うつの兆候を見抜くことができていることと、訪問後数ヶ月たつてからうつになった場合のことが考えられていない。また、患者自体がうつつの症状を隠すといったこともあるため、このエディンバラ質問表が1度に大勢の母親に配ってふるいにかけるような形になってしまい、有効に使われているとは言えない。我々の会(現在会員数365人)は継続的(月2～3回開催)に活動を続けることから、妊娠中からの母親同士の情報交換や交流の場として高い評価を参加者から頂いている。我々の会から生の母親の声を聞くことで、子育て支援の現場にこの声を活かして頂きたいと言ふことと、今後の方針についても考えていきたい。

4. 成果目標 (できる限り具体的に表現してください)

これまでの行政の産後の母親ケア、子育て支援の取り組みの話を伺うと、多くの母親の中からうつ病の母親を洗い出す、保健センターなどでも子どもたちの発育をデータと比べ、少しでも相反すると保健師から注意をうける、という母親にとつて精神的苦痛を味わうようなやり方であつたと強く感じる。子育てしやすい環境を作る、と考えた時に、産前から産後の子育てのサポートを継続的にすることが大切であり、1回限りの家庭訪問やアンケートでは成果がでにくく、いかに母親たちと継続的に密に付き合いの声を聞くことが重要であると思う。継続的に進んでいる我々の会、生の母親の声を行政に吸い上げて反映することで、産前から本当に子育てしやすい環境とはどういったものが必要なのか、市民のニーズを取り入れ環境を整えることが目標です。

5. 事業計画

今まで我々が行ってきた会（産前～産後の母親対象）の質問のなかでもっとも多かったのが、食に関することであった。従来保健センターなどで行われてきた栄養指導、参考書類の配布、現代栄養学と子どもの食事の進捗が少しでもずれていると、母親を注意する。というやり方ではなく、助産師からみた妊婦の体に負担のない食事、子どもの離乳時期。そして昔ながらの日本の食事玄米菜食の試食と話を交えて紹介していく。

10月23日（土）「生まれる前からの子育て」場所：グランシップ 会議ホール 風

対象：妊娠中の母親&父親 160名

第1部 「丈夫な体の子どもを作る玄米菜食の試食とおはなし」

講師：マクロビオチイックインストラクター 森田氏・ 助産師 篠田氏
第2部 マタニテイコンサート

6. スケジュール

7月 産後6ヶ月までの親子 10組対象 「丈夫なからだの子を作る 玄米菜食のおはなしと試食」

講師：マクロビオチイックインストラクター・助産師、進行役子育てフェスタ
「生まれる前からの子育て」に向けて会議、ミーティング

8月 プレママ&プレパパ サロン 「マタニテイヨガ、産後のママ、赤ちゃんの心と体」

講師：助産師・山田
「生まれる前からの子育て」に向けて会議、参加者とのミーティング
チラシ・ポスターの作成

9月 産後6ヶ月までの親子 10組対象 「ベビーピクス・ベビーマッサージ」

「生まれる前からの子育て」に向けて会議、ミーティング
保健センターなどで告知を開始

10月 プレママ&プレパパ サロン 「ソフロジー分娩法・マタニテイヨガ」

講師：助産師 吉田
「生まれる前からの子育て」に向けて会議、ミーティング

10月23日 「生まれる前からの子育て」開催 対象：産前のカップル 160名対象

グランシップ 会議ホール風

団体名：しずおか子育てフェスタ

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

代表 山田貴子 2008 年 現在の子育てフェスタ前身となる「アースデイしずおか子育てフェスタ」をたちあげる。4月ドリムプラザにて「アースデイしみず」開催。
2009 年 4月 「アースデイしずおか子育てフェスタ」静岡市もくせい会館にて開催
2009 年 7月 静岡市社会福祉協議会 「官路基金」授与
2010 年 3月 静岡県男女共同参画社会づくり地域活動推進事業
「マタニテイ&プレバビフェスタ開催」
地域の助産師と連携して子育てしやすい社会作りのため活動をしている。

安田成希 2007 年 音楽ボランティアグループ「コンソメ Wパンチ」結成、リーダーを務める。
現在までに 400 回を超えるコンサートを、児童館福祉施設で行っている。
2009 年より「アースデイしずおか子育てフェスタ」音楽スタッフとして参加

山下雅宏 2007 年 音楽ボランティアグループ「コンソメ Wパンチ」メンバーになる。
現在までに 400 回を超えるコンサートを、児童館福祉施設で行っている。
2009 年より「アースデイしずおか子育てフェスタ」音楽スタッフとして参加

榎戸真弓 2008 年より「アースデイしずおか子育てフェスタ」スタッフとして参加、
企画・運営担当

安部晶仁 2008 年より「アースデイしずおか子育てフェスタ」スタッフとして参加、
会計・企画担当

8. 特にアピールしたいこと (専門性、独自性、先駆性、実績など)

子育て支援、母親中心となっているサークルは静岡市内でも数多く存在するが、マタニテイ一期にスタッフがあてて活動している団体は当会のみである。昨年度受けた静岡県男女共同参画社会づくり地域活動推進事業、「マタニテイ&プレバビフェスタ 2010」でも妊娠時期から子育てをサポートする、先輩母親・父親が中心となった団体ということで、数多くのマスコミに取り上げて頂き、イベント参加者からも「病院や市の両親教室では聞けない話が聞けた。」「これからもこの会を続けて欲しい。」「定期的にこの会をやってください。」、という大変好評の声を数多く頂いた。また月に 1 回開催しているサロンでも、「妊娠時期から同じ数週妊娠さん知り合うことができ、とても貴重な会です。」「妊娠中のサークルのような会が他にないのでうれしい。」という声を頂いている。

協働パイロット事業 (H22) 見積書

団体名：しずおか子育てフェスタ

企画のタイトル：生まれる前からの子育て

項目	金額	説明
玄米菜食インストラクター講師料	¥80,000	11:00～13:30 (2時間半)
試食ランチ制作費		1人500円×160人分＝ ¥80,000
助産師講師料	¥5,000	11:00～13:30 (2時間半)
会場使用料	¥86,000	ランチ 会議ホール風
		9:00～12:00 ¥36900
		12:00～17:00 ¥49100
ポスター・チラシ	¥36,920	ポスター印刷代 ¥19,220
		チラシ印刷代 ¥17,700
胎教コンサート	¥30,000	オーケストラ出演料 ¥30,000
小計 A	¥237,920	
消費税 B = A × 0.05	¥11,896	
合計 A + B	¥249,816	

◎実費弁償契約の希望の有無 有 無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途
子育て支援団体・企業からの寄付金	¥100,000	参加者保険 ¥3,000 送料 ¥3,000 アドバイザー交通費 3人分 ¥8,310 アドバイザー謝礼 ¥10,123 イベント当日講師、演奏者、司会者お弁当代 ¥8,000 文具代 ¥15,477 インク代 ¥18,280 印刷製本代 ¥33,810 ¥100,000

企画提案の概要書

提案団体名	しずおか子育てフェスタ
企画案のタイトル	生まれる前からの子育て
提案の要旨 (企画提案書の概要を400字以内で ご記入ください。)	核家族・少子化が進む一方で根本的な解決「子育てしやすい社会作り」という視点で見えた場合これから第1子目を出産する妊婦の不安は大きく、地域でのサポート・情報交換・人と人との繋がりが充分にできていない現状である。静岡市内だけでも産前産後鬱の母親教は増加の一途を辿っており(静岡市健康づくり推進課談 人数は現在非公開)大きな問題となっている。産前から産後まで長期間にわたって継続的なサポートをすることが大切であるのに対し、第1子目産前からの子育て支援を考えたイベントや講座が皆無であるため、このような現状になってしまっていると考えている。赤ちゃんとの新生活のスタートをスムーズで楽しいものにし、イベントに参加した同じ数週間の妊婦との交流は産後子育ての仲間となり母親の孤立化を防ぐ。
金額	249,816 円

《注意事項》

ホームページでの公開資料です。以下のことに注意してください。

- ・ 丸数字などの特殊記号は使わないようにしてください。
- ・ 図やイラスト、写真、動画、スライド等は掲載できません。
- ・ html で表現できない複雑な表現方法はご利用できません。